



伊豆市議会だより

No.56 発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp>
編集:議会広報委員会
〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2
TEL 0558-72-9906 **2018.5.1発行**



本立野西念寺大しだれ桜

目次

■ 3月定例会の概要	2
■ 委員会審査	4
■ 一般質問	8
■ 政治倫理審査会審査結果の報告	12
■ 議会報告会開催のお知らせ・6月定例会の予定	14



議会ホームページの
QRコード

平成30年度 一般会計・各特別会計予算を審議・可決 一般会計予算は、168億2,000万円になりました。

平成30年
第1回定例会

平成30年第1回定例会を、2月21日から3月22日まで30日間の会期で開催しました。平成30年度一般会計予算、各特別・企業会計予算17件、平成29年度補正予算5件、条例関係17件、その他6件、人事案件2件が上程され、審議の結果、それぞれ原案のとおり可決しました。



▲市長施政方針

平成30年度一般会計・特別会計・企業会計予算総括表

※1万円未満は切り捨て

会計名	30年度当初予算	29年度当初予算	比較	
一般会計	168億2,000万円	166億8,747万円	1億3,253万円	
特別会計・企業会計	公共用地取得事業特別会計	44万円	152万円	△108万円
	国民健康保険特別会計	43億7,000万円	51億200万円	△7億3,200万円
	後期高齢者医療特別会計	4億4,090万円	4億630万円	3,460万円
	介護保険特別会計	32億5,000万円	31億2,000万円	1億3,000万円
	簡易水道事業特別会計	1億6,100万円	1億5,300万円	800万円
	下水道事業特別会計	15億4,600万円	16億1,500万円	△6,900万円
	農業集落排水事業特別会計	1億4,900万円	1億4,700万円	200万円
	水道事業会計	7億4,036万円	8億415万円	△6,379万円
	温泉事業特別会計	7,666万円	6,096万円	1,570万円
	財産区特別会計（7財産区）	561万円	526万円	35万円

平成30年度 予算

◆一般会計予算

平成30年度一般会計予算は、「第2次伊豆市総合計画」の5つのまちづくり重点目標に掲げた具体的な施策や事業を着実に進めるため、「未来に向けた着実な一歩」を踏み出す予算としました。

総額は168億2千万円で、前年度より1億3千253万円増額し、伊豆市としては過去2番目の当初予算の規模となりました。

主な事業として、天城湯ヶ島支所の移転に伴い、コミュニティ複合施設として活用するため、旧湯ヶ島小学校の施設改修、伊豆半島のクロスポイントとなる天城湯ヶ島IC（仮称）と道の駅の整備。

また、東京2020大会の伊豆市開催に向けての情報発信などソフト事業、修善寺駅前地区や大野地区のアクセス道路改修事業など、2年後に向けて準備を進めていきます。

このほか、新規事業として、『土肥地区観光防災ランドデザイン検討事業』、『若者・女性・シングルペアレント移住施策』、『文学の

郷構想策定支援業務委託』、『新こども園建設事業』、拡充事業として、『放課後児童クラブ運営事業』、継続事業として、『こども医療費助成金』、『ふじのくに地域少子化突破戦略応援事業』などが計上されています。

◆国民健康保険特別会計予算

平成30年度から財政運営の責任主体が静岡県となるため、県から示された療養給付費や国民健康保険事業費納付金等を算定した結果、総額は43億7千万円で、前年度より7億3千200万円減額となりました。

◆介護保険特別会計予算

介護報酬改定に伴う報酬単価の上昇や居宅介護サービス利用者の増加などにより、総額32億5千万円で、前年度より1億3千万円増額となりました。

◆下水道事業特別会計予算

流域下水道維持管理負担金が増額となる一方、湯ヶ島クリーンセンターの長寿命化計画に基づく改築更新工事や地方債償還金の減額

により、総額15億4千600万円で、前年度より6千900万円減額となりました。

平成29年度補正予算

◆一般会計補正予算(第8回)

歳出においては、平成28年度で事業終了した臨時福祉給付金の精算に伴う国庫返還金、利用者の増加による障害児通所給付費、財政調整基金の運用益の積立などを増額する一方、国や県の事業採択が見送られたために事業の執行を見送った工事費を減額。

歳入においては、執行を見送った事業に充当していた国・県の補助金や地方債を減額するなど、総額4億9千689万円を減額し、歳入・歳出予算額を169億502万円とするもの。

条例

◆伊豆市中小企業及び小規模企業振興基本条例の制定

中小企業・小規模企業が雇用など、地域経済に重要な役割を果たし、活性化の源となることを明確

に位置づけ、地域経済での役割の大きさや、支援の必要性を明記し、その持続的発展の支援に特化した条例を制定するもの。

◆伊豆市消費生活センターの組織及び運営に関する条例の制定

消費者被害の早期発見及び防止を図るため消費生活センターを設置する。これに伴い、消費生活センターの組織及び運営並びに情報の安全管理に関する事項について定める条例を制定するもの。

その他

◆第2次伊豆市総合計画基本構想の変更

第2次総合計画の計画期間は、平成28年度から平成37年度までの10年間となっているが、文教ガーデンシティ事業の中止に係る施策の整理、人口減少の進展、観光業の雇用状況の厳しさ、伊豆縦貫自動車道路の南進等、今般の様々な変動要因を受け、総合計画の改定を行うこととなったことから、基本構想を変更するもの。

人事

◆人権擁護委員候補者の推薦

平成30年6月30日をもって任期満了となる植松一明氏を再任して推薦することに同意するもの。

任期は、平成30年7月1日から3年間。

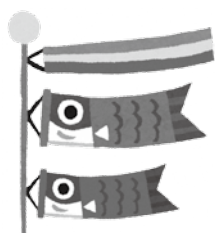
◆教育委員会委員の任命

現在、1名の欠員となっている委員の補充として、野田美保子氏を任命することに同意するもの。

任期は、平成30年3月22日から平成33年5月11日まで。

また、平成30年5月11日をもって、任期満了となる1名の委員の後任として、上田祥史氏を任命することに同意するもの。

任期は、平成30年5月12日から4年間。





委員会及び連合審査会で次のような質疑がありました

第1委員会

◆平成29年度一般会計補正予算

問 旧営林署跡地活用基本計画策定委託料の減額600万円は、当初の予定が遅れたのか、未実施となった理由は。

答 旧営林署跡地は、市が購入し、地域で有効な活用ができればと考えています。昨年10月に湯ヶ島の地域づくり協議会から旧営林署跡地を含む旧湯ヶ島小学校跡地周辺のランドデザインが出され、旧営林署跡地だけの活用計画ではなく、平成30年度一般会計予算に計上した文学の郷構想に含めて位置づけた方がベストと判断し、取り下げたためです。

◆平成30年度一般会計予算

問 わさびの郷構想策定業務委託料について説明を。

答 静岡の水わさびの伝統栽培が日本農業遺産に認定され、さらに世界農業遺産認定を目指しています。(その後、世界農業遺産に認定されました)

また、静岡県が取り組む『伊豆わさび応援隊』の伊豆半島わさびバレー構想など、さまざまなPRが進められています。

伊豆市の現状は、生産者と観光等のつながりなど、課題を整理し支援する必要がある段階で、この機会に、生産者や地域、関係団体から意見集約をはかり、生産・流通・観光施設などのわさび振興に関する指針を策定するためのものです。



▲わさび田

問 交通ネットワーク調査検証業務委託について、伊豆市の生活交通ネットワーク形成計画に基づく

ものだが、どのような委託を行うかとしているのか。

答 現在行っている天城地区のデマンドタクシーの実証実験を、支所の移転等を考慮して半年間延長します。また、中伊豆地区について、実証実験を進めるための計画づくりを行い、秋口から半年間、実証運行をするためのものです。

◆平成30年度下水道事業特別会計予算

問 下水道料金の値上げにかかる市民への周知方法は、どのようにしているのか。

答 伊豆市のホームページに掲載、FMSでは3月末まで放送を流してもらい、広報紙は2月・3月号でのお知らせとともに、下水道使用者に対して直接チラシを配布しているところです。

◆平成30年度農業集落排水事業特別会計予算

問 農業集落排水施設は更新が難しいようだが、将来的な方向性があるのか。

答 施設の将来的な方向性は、地区の将来人口予測と排水量から継

続、統合または、流域下水道への接続となります。地区については、加殿と佐野・雲金の施設は流域下水道に接続、冷川の施設は現状維持、門野原の施設は湯ヶ島クリーンセンターへの統合、吉奈の施設は現状維持かまたは、合併浄化槽といった方向性を検討していますが、まだ結論は出ていません。

◆伊豆市中小企業及び小規模企業振興基本条例の制定

問 県条例を踏襲した条例とされているが、伊豆市としてこだわりを持って制定した部分があるのか。

答 第1条に『福祉』を盛り込みました。この福祉の意味は、広義でいうと幸福感ということで、制度面だけでなく心情面の充実も目指すことを考えています。

また、人材確保のための有効な手段であると考えて、第5条で『福利厚生』を盛り込みました。



第2委員会

◆平成29年度一般会計補正予算

問 障害児通所給付費の不足の理由は。

答 平成29年9月になり、児童発達支援事業と放課後等デイサービスの利用件数が倍増したためです。

◆平成30年度一般会計予算

問 新こども園の定員が現在の園児数と比べ多い理由はなにか。

答 こども園については、1〜2歳児の入園希望が非常に多く、ぎりぎりの中で待機児童ゼロとなっていますが、希望者は増加傾向にあることや、保護者の仕事先の都合による入園希望もあるためです。

問 2次救急病院設備整備補助金は伊豆赤十字病院のMRIを整備する費用とのことだが、いつごろ導入されるのか。また、病院群輪番制病院設備整備補助金の内容は。

答 MRIについては平成30年度早々に購入を考えているとのこと

です。また、補助金の内容は、同じく伊豆赤十字病院のX線テレビ装置と多目的自動血球分析器の整備に対し、国・県とともに補助するものです。



問 放課後児童クラブ運営委託料が、平成29年度に比べて約一千万円ふえているが、その理由は。

答 利用者がふえていることと、それに伴い指導員の確保及び給与を上げるのが主なものになります。

問 焼却施設清掃点検委託料や施設改良工事費は、経常的な補修の経費と捉えてよいか。

答 新ごみ処理施設は、平成34年4月稼働を目指しております。老朽化した現在の施設を、いかに平

成33年度末までもたせるか、今後の4年間ある程度の修繕計画を見込んだ上での予算立てとなっています。

これが延伸すると大規模改修等が必要になる可能性や緊急停止する場合もあります。

◆平成30年度国民健康保険特別会計予算

問 平成30年度から財政運営主体が変わるが、財政運営は健全に保たれるのか。

答 県から示された医療費に対する納付金は、国保税からの収入で賄えると見込んでいますが、国保税は被保険者数と所得の減少により減少傾向にあります。ただし、保険給付の大部分を占める医療給付分が全額交付金として県から交付されますので、市としての財政は安定してきます。

◆平成30年度介護保険特別会計予算

問 認知症初期集中支援チームの業務委託の内容は。

答 この事業は、包括支援センターに、初期の認知症を対象として訪

問し、専門家で構成するチームで6カ月間集中的に支援していくものです。市では、初期の段階の人を早めに見つけ支援していくことに力を入れています。

◆伊豆市消費生活センターの組織及び運営に関する条例の制定

問 消費者相談の体制はどのようになっているのか。

答 消費生活センター設置後も、伊豆の国市と連携して事業を行っていきます。相談日については、現在伊豆市は火曜日と木曜日、伊豆の国市が月曜日と金曜日ですが、平成30年度から伊豆市の相談日に水曜日を追加しますので、実質毎日どちらかで相談が受けられることとなります。



討論

◆平成30年度一般会計予算

反対討論

(西島 信也議員)

本予算は、伊豆市民にとって得るものが圧倒的に少なく、反対に市民を苦しめる予算であります。それは月ヶ瀬道の駅建設構想により、深刻な事態が生じようとしています。

ただでさえ天城を通るお客さんが少なくなっている昨今、月ヶ瀬に道の駅ができれば、「天城越え道の駅」は大打撃をうけます。予算としてもここへ約8億円の大金がつき込まれます。

この道の駅の建設は、市民にとってどんな意味があるのか、どんな利益があるのか、原点到立ち返って考える必要があります。

賛成討論

(杉山 武司議員)

本予算の主事業は東京2020大会会場へのアクセス道路整備、月ヶ瀬地区の道の駅整備や長年の

地元要望の市道矢熊筏場線改良工事が盛り込まれ、また昨年の9月議会において可決した修善寺東こども園建設の計画、さらに拠点整備の一環の天城湯ヶ島地区の地域振興に関する要望書に沿った事業も予算に組み込まれています。市長が幹部職員を集めた年頭の訓示で述べた「私達の判断基準は常に市民」の考えが集約された予算と判断します。

反対討論

(木村 建一議員)

①文学の郷構想委託料。湯ヶ島地区・策定会議は、文学で観光客に来てほしいと提案していません。どこでどう間違えて、観光客誘致に変えたのでしょうか。当局の提案の目的・趣旨を変えない限り賛成できません。

②グランドゴルフ場整備構想検討業務委託。市内の愛好者が願っていることですか。観光客を誘致して収益につなげるというのは、やめた方がいい。なぜなら、市長は今議会で「観光を行政はやってもうまくいかない」と答えたのですから。

賛成討論

(間野みどり議員)

本予算は伊豆市の現状、課題に対応し、今やるべきこと。また、これから伊豆市のビジョンにむけて、第一歩を踏み出すための予算内容であると思います。

その中で、若い世代や市民から希望されている東こども園建設のための予算が計上されていること。母子健康事業など妊産婦から中高生まで育児に本当に必要なものに目を向けられていること、ひとりでも多くの方を救いたい地域自殺対策計画策定業務委託料の計上されたことです。

◆第2次伊豆市総合計画基本構想の変更について

反対討論

(森 良雄議員)

人口減少の嵐はこれからです。これからが本番なのです。住宅の空き家はたくさんあります。そんな中での開発はあり得ません。乱開発がすすみます。伊豆市の人口減少は市民が難民となり、出て行ってしまうのです。近隣の市町へ

逃げ出しています。開発は周辺部の人口減少をすすめます。開発は自然破壊をすすめます。伊豆市の衰退がすすみます。伊豆市への移住はほんの一握りの方です。住みよい伊豆市を作ることです。自然豊かな伊豆市を作りましょう。

賛成討論

(小長谷順二議員)

第2次伊豆市総合計画基本構想の改定は、主要施策であった「文教ガーデンシティ」事業の中止をはじめとする変動要因を整理した上で、更に魅力あるまちづくりを推進するための計画となっております。

伊豆市の将来像、まちの重点目標、土地利用構想の体系を維持しながら、自然・歴史・文化が薫る誇りと活力に満ちた「伊豆半島の新機軸」・伊豆市のテーマ具現化のために、当市の最上位計画に即した市政運営を着実に実行していただきたいと願います。



平成30年第1回(3月)定例会で審議した議案

■賛否が分かれた議案

件名	議決結果	波多野靖明	山口繁	梶和馬	間野みどり	鈴木正人	下山祥二	杉山武司	青木靖	永岡康司	小長谷順二	小長谷朗夫	西島信也	杉山誠	森良雄	木村建一
予算																
平成30年度伊豆市一般会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×
平成30年度伊豆市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成30年度伊豆市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成30年度伊豆市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成30年度伊豆市簡易水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成29年度伊豆市公共用地取得事業特別会計補正予算(第2回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成29年度伊豆市下水道事業特別会計補正予算(第3回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
条例																
伊豆市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
伊豆市職員の派遣に伴う地域手当の支給に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
伊豆市地区計画等の案の作成手続に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
伊豆市介護保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
その他																
第2次伊豆市総合計画基本構想の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×
伊豆市伊豆の国市廃棄物処理施設組合規約の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
人権擁護委員候補者の推薦について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
伊豆市教育委員会委員の任命について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
工事請負契約の締結について(旧湯ヶ島小学校耐震改修工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
工事請負契約の締結について(大平地区下水道工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

※1 ○賛成 ×反対 ※2 議長(三田忠男)は、可否同数の採決以外は、採決に加わりません。
 ※3 7財産区…持越、市山、門野原、吉奈、月ヶ瀬、田沢、矢熊

■全会一致で可決した議案等

平成29年度伊豆市一般会計補正予算(第8回)	伊豆市国民健康保険税条例の一部改正について
平成29年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算(第4回)	伊豆市国民健康保険保険給付等支払準備基金条例の一部改正について
平成29年度伊豆市介護保険特別会計補正予算(第3回)	伊豆市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について
平成30年度伊豆市公共用地取得事業特別会計予算	伊豆市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び伊豆市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について
平成30年度伊豆市下水道事業特別会計予算	
平成30年度伊豆市農業集落排水事業特別会計予算	伊豆市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について
平成30年度伊豆市水道事業会計予算	
平成30年度伊豆市温泉事業特別会計予算	伊豆市指定居宅介護支援の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の制定について
平成30年度伊豆市持越財産区特別会計予算(他6財産区)	
伊豆市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	伊豆市指定居宅介護支援の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の制定について
伊豆市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	
伊豆市個人情報保護条例の一部改正について	義務教育学校の開校に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
伊豆市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正について	
伊豆市中小企業及び小規模企業振興基本条例の制定について	奥山大野辺地総合整備計画の変更について
伊豆市消費生活センターの組織及び運営に関する条例の制定について	伊豆市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定について

市政を問う

～一般質問～



録画配信の
QRコード

3月定例会での一般質問は、12名の議員が行いました。
質問と答弁を要約してお知らせします。(質問順)

質問

公共施設等の再配置 と借地の整理

(青木 靖議員)



伊豆市の将来に向か
つてのまちづくりの中
で、老朽化が進んでい
たり利用率の低い公共
施設の見直しは、財政から見ても重要です。

①公共施設の再配置の計画が作られますが、
具体的にどのような取組みをどう行いますか。
②将来にわたり維持すべき施設は借地の解消
を進め、経常コストを削減すべきですが、ど
のように取組みますか。

市長 答

198の総合管理計画 対象の半分が借地あり

①例えば年間の延べ利用者数が1万人で、10
人が千回なのか、千人が10回なのかによつて
施設の性質が異なることがあります。状況に
より利用者数が少なくても、地域に絶対に必
要な施設というものもあります。

状況を把握した上で再配置に向けた計画の
策定に進めればと考えます。

②基本的な方針、大原則を定めて対応します。
公共として必要なものは買わせていただく。
使わないもの、あるいはどうしても売ってい
ただけないものは、お返しするという基本方
針として、今後、借地料の軽減にも歩を進め
たいと考えます。

質問

総合計画の 見直しについて

(山口 繁議員)



文教ガーデンシティ
の中止により見直すこ
ととなった第2次総合
計画について、本定例会の市長施政方針で計
画の見直しに相応しいインパクトのあるもの
が示されると期待していましたが叶いません
でした。改めてコンパクトタウン構想を堅持
しながら進めるといふ新たなまちづくりにつ
いて、わかりやすく示してほしい。

市長 答

都市機能を集約し充実 生活拠点も確保する

修善寺駅周辺に我々の持つている都市機能
を集約し、充実し、そして中伊豆、湯ヶ島、
土肥のそれぞれの生活拠点もしっかり確保し
たいということで、ネットワーク型コンパク
トタウンという名称を使ったわけです。

伊豆縦貫道の進捗のタイミングと、平成28
年度に終わった光ファイバーの整備、道路ネ
ットワークと情報ネットワークを使うことに
よつて、伊豆市内の生活拠点間のネットワー
クを作り、伊豆市型のコンパクトタウンとい
うものを考えてまいります。

質問

健康寿命の延伸と
医療費の抑制



(小長谷順一議員)

高齡化により医療・介護費用が膨らみ、人口減少社会によって、さらに厳しい財政運営が強いられる伊豆市において、市民が健康であり続けるためには、生活習慣病や寝たきりを予防することが非常に重要です。

これまでの健康づくり施策について、どのように評価しているのか、成果と課題、今後の取組みについて伺います。

健康福祉部長
答弁

更なる受診率の向上
特定健診の充実を図る

伊豆市げんきプロジェクトをはじめとして、各種の健康診査事業、専門職による健康相談や健康教育事業、生活習慣病の発症・重症化予防に取り組んでまいりました。検診受診率では県平均を上回っていますが、特定健診の結果分析ではメタボや高血圧など生活習慣病の数値が県平均より高いことがわかっています。これらへの対応が「健康寿命の延伸」につながるものと思ひ、更なる受診率向上に向けた検診体制の検討や特定健診要指導者への指導強化、重症化予防への取り組みに力を入れていきます。また、「医療費の抑制」につなげていきます。

質問

天城支所跡地の
利用計画



(西島 信也議員)

本年4月から天城湯ヶ島支所が旧湯ヶ島幼稚園に移転するが、同跡地の利用計画について次のとおりお尋ねします。

- ①天城保健福祉センター、農村環境改善センター等の今後の処置はどうするのか。
- ②旧支所・倉庫及び同敷地は、時価約月60万円のところ、月20万円で東京ラスクに減額貸付しているが、これを見直す考えはないか。

総務部長
答弁

支所移転に伴う建物
利用は東京ラスクに

①保健福祉センターの一階部分は東京ラスクに貸し出し、二階部分については書籍や資料の一時保管場所として市が使用する予定です。農村環境改善センターならびに天城温泉プールにつきましては、平成30年度末をもって閉館する方向で関係部署が検討をしています。

②旧支所・倉庫及び同敷地等の賃料ですが、平成22年12月に締結した定期建物賃貸借契約に基づくもので、この見直しについて現時点では考えていません。

質問

ヘリポートの整備計画
は如何か



(杉山 武司議員)

救急救命は時間との闘いです。

伊豆市は広大な面積に人口が疎らに点在している広域分散型社会が伊豆市の現状です。

救急救命において、この致命的な地勢を乗り越える最も有効な手段はドクターヘリが最も効果があります。乗員の安全確保と重症患者を一刻も早く救助できるヘリポートの整備を求めます。

市長
答弁

今後もヘリポートの
確保に努めます

ドクターヘリの位置づけ、伊豆市では、大変に必要な救急手段であると考えております。距離、渋滞、船原峠もあり、土肥は一番心配しています。非常に貴重な搬送手段となっておりませんが、夜と天気が悪いとき運用できないので将来への大きな課題と認識しております。

防災監
答弁

ドクターヘリランデブーポイントは、消防本部において、防災ヘリポートを含み、市内39カ所を指定しております。

質問

地方創生、そして伊豆市の戦略は？



(下山 祥二議員)

まち・ひと・しごと地方創生のカギとなります。伊豆市が生き残るためには、地域の特性を活かしたまちづくりを強く進め、若者がずっと住み続けたいと思えるまちづくりを、市民・行政・そして議会が一体となって知恵を絞って進めていく必要があります。伊豆市の財政を鑑み、攻めと守りの観点から伺います。

市長
市答

行政の効率化、教育と産業振興への投資

人口と将来の経済との関係は、必ずしも正比例の関係ではないと、人口減少がそのまま経済衰退の仕組みではないと考えております。

課題はたくさんありますが、その中で、行政サービス、都市構造は、効率化させていただき、その一方で将来に向けて必要な投資は、積極的に進めてまいります。

基本的に、次世代育成のための教育と、産業振興のための投資と考えております。

質問

地方創生にSDGsの活用を



(杉山 誠議員)

SDGs（エスディージーズ）とは、貧困や格差、気候変動などの課題解決のため、国連加盟国が全会一致で採択した国際目標です。

人口減少や地域の衰退など、地方が抱える課題解決の糸口になるとされるこの国際目標を活用して、地方創生を前に進めませんか。

また、学校におけるESD教育の取組みはいかがですか。

市長
市答

伊豆市の地方創生にもかなうと認識している

伊豆市としては、少しでも地球温暖化の防止に寄与し、住み続けられるまちづくりを進める中で、SDGsの掲げる目標理念の方向に進んでいくことがお互いの利益になり、伊豆市の地方創生にもかなうと認識しています。

ESDは、持続可能な社会の担い手を育み身近なところから課題解決に取り組みもうとする人を育成し、意識と行動する教育です。

市内では天城中学校がユネスコスクールの認定を受け、ふるさとである天城の地域の良さを学ぶ「天城学習」に取り組んでいます。

質問

修善寺虹の郷 再生・復活策は？



(星谷 和馬議員)

虹の郷は、伊豆市の数ある施設の中で最大級の面積、規模を誇っています。豊かな自然林も有り環境にも大変恵まれています。

近年来園者数の減少が著しく止まりません。来園者の増加は、修善寺、伊豆半島全域に経済効果を波及し、活力にも繋がります。来園者数を増やす対策は、どのように取り組んでいますか。

部長
産業部
市答

様々な取り組みを現在行っています

現在、来園者数を増やすために取り組んでいるものの一部を紹介させていただきます。イベントとしては、忍者イベント、秋の紅葉ライトアップ、ワンちゃん同伴入園などが好評で、それに加えてコスプレ愛好家を対象とした撮影用のオープンスタジオの設置などのコスプレ支援も行なっております。SLと富士山が同時に撮影できる日本で唯一の場所として新スポットとしてのPRも行なっております。

今後は新たな民間の利活用も含め、集客の強化に取り組んでいきたいと考えています。

質問
「天城支所跡地を東京ラスク」の覚書の課題



(木村 建一議員)

①覚書によって、市と東京ラスクにどのような効力がはたらきますか。
 ②天城湯ヶ島支所跡地周辺の土地・建物を東京ラスクに売却を前提の覚書は、行政財産が含まれています。覚書は有効ですか。
 ③地方が企業誘致する条件を、市長は以前議会で述べました。今回の件に当てはめて見解を求めます。

長弁 総務部
財産処分については 議会の議決が必要です

①売買契約を締結するまでの間、個々の施設についてその使用権限の主体と時期などを双方で確認したものです。
 ②貸付けや売却の前提として、行政財産の用途廃止に係る関係条例に関する議決もいただき、売却時には売却に関する議決も必要となります。

市長弁 市答
一般論として事業会社が国内に事業展開する場合には、雇用を確保できる立地、または、社長の生まれ故郷が多いということを示した記憶があります。

③一社が国内に事業展開する場合には、雇用を確保できる立地、または、社長の生まれ故郷が多いということを示した記憶があります。今回の東京ラスクはまさに、社長の生まれ故郷であり、あてはまると思います。

質問
外国語対応の取組みは伊豆市の発展に繋がる



(波多野靖明議員)

外国人観光客が訪れる観光地の「景観」、人と人の繋がる「おもてなし」が揃い「また訪れたい」というリピートに繋がります。口コミでの評価を根強くしていくものと思います。しかし、外国語に苦戦している旅館、商店があると聞きます。オリンピックにも備え、言葉の壁を越えて行くための取組みをお伺いいたします。

市長弁 市答
市内の施設や看板、ソフト面も整備します

私も使っている「ボイストラ」というアプリは、国立の情報通信研究機構で開発したもので、英語に関しては相当高いレベルで出てきますので、大いに宣伝したいと思っています。

部長弁 産業部
多言語標記につきましては、市内各所にある施設案内看板及び観光案内看板、ジオサイト案内板、道路標識等分かります。

また景観にも配慮した整備を進めています。今後は、関係団体等から要望等があればさらに整備を検討したいと考えているところでです。

質問
施政方針における市長の思いは何ですか？



(鈴木 正人議員)

市長は一年前の施政方針にて『米百俵』の精神を引用され、「真に必要な可能性のある将来投資は勇気を持って進めてまいりたい」、「中でも教育・人材育成は最も大切な投資である」と述べられました。

総合計画が見直された後のこの度の施政方針においても、その考えに変わりはありませんか？

市長弁 市答
『米百俵』の精神は不変

今でも教育と人材育成は、最も大切な投資であると、まさに私はこの点については、考え方は変わっておりません。

【米百俵の故事】

戊辰戦争により新潟長岡藩が壊滅状況となつたとき、隣藩から米百俵が贈られたが、大参事小林虎三郎は藩士に分け与えずに、米百俵を元手に国漢学校を開校し、人材を養成した。



質問

ほんとうに
行ったのですか

(森 良雄議員)

市長は、昨年7月1日から3日まで台湾へ行きました。野柳自然公園へ行ったとのことですが、本当に行ったのですか。

市長の羽田までの電車賃やホテル代は領収書がありません。

野柳自然公園へタクシーを使ったとのことですが、領収書はありません。野柳自然公園の入場料の領収書はありますか。

市長
市答 行きました
領収書はありません

野柳自然公園に行ったかどうかということですが、参りました。

修善寺から東京までの電車賃は、定額ですので領収書はありません。

また、羽田のホテル代は、自費ですので領収書は出しておりません。

現地での視察先への移動は、タクシーや公共交通機関を利用し、入場料なども各自で支払っており、領収書はありません。

総合政策
部長答弁

伊豆市議会議員政治倫理条例に基づく審査結果の公表

伊豆市議会では、議員が市民全体の代表者として誠実かつ公正に職務を遂行し、人格と倫理の向上に努めるとともに、その権限又は地位による影響力を不正に行使しないよう伊豆市議会議員政治倫理条例により政治倫理基準を設け、この基準に違反する行為については、市民や議員から違反に対する審査請求をすることができます。今回、伊豆市議会議員 森良雄氏のブログの記載内容と一般質問の発言に対し、2件の審査請求が提出され、伊豆市議会政治倫理審査会から審査結果が報告されたので、その結果について公表します。

○ 第1号付託事件

【審査請求者】 佐藤 諭【紹介議員】 青木 靖、木村 建一、鈴木 正人、杉山 武司【4名】

【審査対象議員】 森 良雄

【審査請求の理由】 森よしお Yahoo! ブログの記述及び一般質問での発言

伊豆市議会議員政治倫理条例第3条第7号（議員の発言又は情報発信は、確たる事実に基づいて行うこととし、虚偽の事実により他人の名誉を毀損する行為をしないこと。）該当について

【審査日】 平成30年1月10日、1月16日、1月24日、1月31日【計4回】

【審査会】 委員長 杉山 誠、副委員長 間野 みどり、委員 西島 信也、小長谷 朗夫、小長谷 順二、永岡 康司、下山 祥二、星谷 和馬、山口 繁、波多野 靖明【10名】

審査結果

伊豆市議会議員政治倫理条例第3条第7号に違反する行為があったことを認める。

(1) インバウンドによる台湾旅行について

平成29年11月2日掲載日のブログについて、インバウンドで台湾へ行った市長及び担当職員の関係文書の提出を求め佐藤氏が公費を使い、インバウンドで参加していないことを確認した。また、この記事以後の同ブログ中の「佐藤」は審査請求者の佐藤氏と判別ができ、本人が森良雄議員に電話で修正等の話をしているにもかかわらず、修正、削除に応じていない。

(2) 台湾出張に係る旅費について

平成29年12月5日掲載日のブログについて、伊豆中央バスに支払われた一人分の旅費が159,685円として伊豆中央バスに支払われたと読むことができる。審査会に開示された台湾出張の資料の旅費で伊豆中央バスに支払われた一人分の旅費は101,310円であった。旅費の全額表示については、虚偽に当たるものと確認した。

(3) 台湾出張の説明を求める内容について

平成29年12月16日掲載日のブログについて、佐藤氏が市長の台湾出張の全てを企画し添乗員として同行したように書かれ、そのことを前提に市長の台湾出張の内容の説明を求め、説明責任を果たしていないとしている。佐藤氏の説明では公費による台湾旅行ではなく添乗員もしていない。

(4) 平成29年第4回定例会の森良雄議員の一般質問（12月5日）の発言内容について

一般質問の中で「伊豆中央のあれはあれですよ。社長は、伊豆市から金をもらってんですよ。」と発言している。その後、森良雄議員は「訂正する」とは発言したが、伊豆中央バスの社長が公金を使って台湾に行った旨の発言を訂正したとはとられない程度の不明確な発言であり、一般質問をインターネットで視聴されている市民には、疑わしいままの状態となった。

措置の内容

議場において政治倫理基準を遵守させるための文書による警告及び次の事項を決定した。

森よしお Yahoo! ブログの記述中、審査請求者の佐藤諭氏及び佐藤氏が経営するバス会社に関する記述の部分の削除を求める。また、審査請求書提出後（平成29年12月18日以後）のブログに掲載している佐藤氏及び佐藤氏が経営するバス会社に関する今回の台湾旅行に関する記述の削除を求める。

【政治倫理条例第6条第9項の公表事項】

審査会は、審査対象議員の森良雄氏に3回の出席要求をしたが、出席はなかった。

第2号付託事件

【請求者議員】 間野 みどり 【連署議員】 小長谷 順二、下山 祥二、青木 靖 【3名】

【審査対象議員】 森 良雄

【審査請求の理由】 森よしおブログの発言、記述の内容

伊豆市議会議員政治倫理条例第3条第7号（議員の発言又は情報発信は、確たる事実に基づいて行うこととし、虚偽の事実により他人の名誉を毀損する行為をしないこと。）該当について

【審査日】 平成30年1月10日、1月16日、1月24日、1月31日、2月7日 【計5回】

【審査会】 委員長 木村 建一、副委員長 鈴木 正人、委員 杉山 誠、西島 信也、小長谷 朗夫、永岡 康司、杉山 武司、星谷 和馬、山口 繁、波多野 靖明 【10名】

審査結果

伊豆市議会議員政治倫理条例第3条第7号に違反する行為はない。

【政治倫理条例第6条第12項の名誉回復の措置】 必要なし

【政治倫理条例第6条第9項の公表事項】

審査会は、審査対象議員の森良雄氏に2回の出席要求をしたが、出席はなかった。

伊豆市議会「議会報告会」を開催します！

伊豆市議会では、市民の皆様には議会活動や市政について報告するとともに、ご意見やご提言などを伺うため、議会報告会（みんなで語る会）を開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

開催日	場所
平成30年5月21日（月）	生きいきプラザ1階／第1・2会議室
5月22日（火）	天城湯ヶ島支所2階／多目的ホール
5月24日（木）	土肥支所4階／第1・2集会室
5月25日（金）	中伊豆ふれあいプラザ2階／多目的研修室

※開催時間は、全会場午後7時からです。
 ※天城湯ヶ島支所は、旧湯ヶ島幼稚園に移転しました。

報告・テーマ

1. 平成30年度 伊豆市一般会計予算について
2. 委員会報告
3. ワークショップ

①教育 ②医療・福祉 ③産業・観光 ④建設・防災
 （4つのテーマに分かれて、皆さんからご意見を伺います。）

議会傍聴・視聴について

本会議はどなたでも傍聴することができます。当日、本庁2階へお越しください。

なお、団体の場合は、事前に議会議務局までご連絡ください。

本会議の様子は、市のホームページからインターネットにより生中継と録画中継による配信もしていますので、ぜひご覧ください。

（議会議務局05558-7219906）

6月定例会の予定

場所 本庁2階 議場
 時間 午前9時30分～
 6月7日（木）行政報告
 議案上程

12日（火）一般質問
 13日（水）一般質問
 14日（木）一般質問
 15日（金）議案質疑
 28日（木）委員長報告
 質疑・討論・採決

※変更となる場合があります。ご了承ください。

6月定例会

委員会の予定

場所 本庁2階 委員会室
 時間 午前9時30分～
 6月19日（火）第1委員会
 20日（水）第2委員会

編集後記

春の訪れと共に新生活スタートです。伊豆市議会も平成30年第1回議会が開会しました。希望に芽が花と咲き、そして実り、種を残して再び次の世代へと繋げるように、次世代に誇れる伊豆市を目指し、今年も市民皆さんの多くの声をお聞かせ下さい。議会では伊豆市の多くの問題が問われ、前年に引き続き、解決に至っていない課題がたくさんあります。

「住んでよし、訪れてよし」そんな伊豆市を目指し切磋琢磨して参ります。

議会広報委員 波多野靖明